

2023年度 日本工学院専門学校											
電子・電気科/電気工事コース											
ネットワーク接続											
対象	2年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	内田寿彦			実務 経験	有	職種	電子・電気科 専任教員				
担当教員紹介											
<p>日本工学院専門学校卒業後、総合電気設備工事会社にて一般住宅からビル・マンション・工場の内線工事に従事。職長を経験後、施工管理技士として主に大手建設会社やデベロッパーから受注した現場の施工管理業務を行う。</p> <p>自営である住宅設備会社に転職後は大手都市ガス会社の委託業務の他、屋内電気配線工事や住宅リフォーム・住宅設備機器の販売や管理業務に従事。同時に日本工学院専門学校電子・電気科の非常勤講師を兼任。専任教員として転職後は主に電気工事実習や高圧電気技術などの科目を担当。</p>											
授業概要											
<p>この科目を受講する学生は電気通信分野の、主にネットワーク接続技術を学んでいくために必要な基礎用語、ネットワーク接続技術を理解できるようになるのが狙いである。また、国家資格「工事担任者」の技術科目の一つであり、「工事担任者」としての必要な電気通信分野の基礎知識を学び理解する目的もある。</p>											
到達目標											
<p>この科目では、学生が電気通信分野のネットワーク接続技術の基礎を学んでいく上で必要な基礎知識の理解すること、通信分野の国家資格を受験する際に必要な知識を理解すること、「工事担任者」としての必要な知識を理解することなどができるようになることを目標にしている。</p>											
授業方法											
<p>この授業では、電気通信分野の基礎について学んでいく上で必要な知識について、国家資格「工事担任者」の項目に準じて学んでいく。電気通信分野のネットワーク接続技術の基礎、用語等を解説し、例題、演習問題を通して理解できるように進めていく。また項目ごとに小テスト（確認テスト）を行い、この授業に参加する学生が、国家資格「工事担任者」として必要な知識が身につくように進めていく。</p>											
成績評価方法											
試験・課題 100% 試験により評価する											
履修上の注意											
<p>この授業では、キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業で配布するプリント問題に積極的に取り組み提出する。養成課程のためすべて出席をする。</p>											
教科書教材											
工事担任者DD1種標準テキスト（リックテレコム）											
回数	授業計画										
第1回	LAN配線工事（メタリックケーブル、光ファイバケーブル）について理解する										
第2回	J I S X 5150:2004 構内情報配線システムについて理解する										
第3回	情報配線システムのフィールドテストについて理解する										
第4回	ADSLの開通工事、LANの工事試験について理解する										
第5回	IPボタン電話装置、IP-PBXの設計・工事について理解する										

2023年度 日本工学院専門学校	
電子・電気科/電気工事コース	
ネットワーク接続	
第6回	工事の施工管理について理解する
第7回	工事の安全管理について理解する
第8回	全体のまとめ